

連続講演会 <中東のいま>



写真は、聖地エルサレムで、左上の金色のドームはイスラムの聖地「岩のドーム」。
右下の人が集まっている前にあるのがユダヤ教の聖地「嘆きの壁」（川上泰徳氏撮影）

2017年、シリア、イラクの過激派「イスラム国」は崩壊しましたが、トランプ大統領が聖地エルサレムをイスラエルの首都と認定したことで中東の緊張が高まっています。日本にどのような影響を与えるのでしょうか。私たち市民の生活はどうなるのでしょうか。

一年の半分を現地で取材されている中東ジャーナリストの川上泰徳さん（練馬区在住）に、何が起きているのか、リアルな中東の現状と課題を、2週にわたりお話いただきます。

また、「本でつながる街づくり」を目指す利用者の会の活動についても、皆様と意見や情報の交換をしたいと思っています。

第1回 2018年3月10日（土）14：00～16：00

<エルサレム問題とパレスチナ70年>

第2回 2018年3月17日（土）14：00～16：00

<「イスラム国」後の中東と世界、そして日本>

講師：川上泰徳氏（中東ジャーナリスト、元朝日新聞記者）（詳細裏面）

会場：練馬区立光が丘図書館 2階視聴覚室（アクセス裏面）

会費：500円／回（当日受付で）

申込：各回60名（申込み順） 氏名、希望回を利用者の会へ

電話 090-1656-2404 メール riyosha.hikarilib@gmail.com

主催：光が丘図書館利用者の会

協力：練馬区立光が丘図書館

講師のご紹介： 川上 泰徳（かわかみ・やすのり）氏

1956 年生まれ、朝日新聞でカイロ、エルサレム、バグダッドなどに特派員として駐在し、パレスチナ紛争、イラク戦争、「アラブの春」などを取材。中東アフリカ総局長、編集委員、論説委員などを歴任。中東報道で 2002 年度の「ボーン・上田記念国際記者賞」受賞。2015 年よりフリーランスの中東ジャーナリスト。

▶ ブログ 中東ウォッチ <http://mideast-watch.blog.jp/>

以下にコラム連載中：

ニューズウィーク日本版 <http://www.newsweekjapan.jp/kawakami/>

集英社新書 WEB <http://shinsho.shueisha.co.jp/column/middleeast/>

著書・共著書一覧

『「イスラム国」はテロの元凶ではない』	集英社新書	2016.12
『中東の現場を歩く』	合同出版	2015.12
『ジャーナリストはなぜ「戦場」に行くのか』	集英社	2015.12
『イスラムを生きる人びと』	岩波書店	2012.3
『現地発エジプト革命』	岩波ブックレット	2011.5
『イラク零年-朝日新聞特派員の報告』	朝日新聞社	2005.9

●光が丘図書館（〒179-0072 練馬区光が丘 4-1-5）へのアクセス

都営大江戸線「光が丘」駅 A3 出口から徒歩 8 分

みどりバス（保谷ルート・氷川ルート・北町ルート）練馬光が丘病院下車徒歩 1 分

●光が丘図書館利用者の会のご紹介

光が丘図書館建設懇談会の区民委員を中心に発足したボランティア団体。1995 年 5 月 20 日設立。地域の情報拠点である図書館の運営に利用者の声を反映させるため、講座、講演会、館内企画展示などの活動を行っています。加入ご希望の方は、利用者の会までご一報ください。年会費 2,000 円

2017 年 12 月より、平成 29 年度まちづくり活動助成事業（みどりのまちづくりセンター）の助成を受け、図書館の外へも活動の幅を広げていくながら、『図書館でつながる、図書館からひろがる』、**本でつながる街づくり**を目指していきます。今回の講演会も、そのひとつとして開催します。